

## 2016年版のATテキスト修正箇所（2016.5.2）

### ○第4巻 健康管理とスポーツ医学

・P11 「f.禁止物質に関して」の改稿

・P127～135 「G ドーピングコントロール」の改稿

※上記変更については「アスレティックトレーナーテキスト修正箇所のご案内」差し替えページ（2016年度版）にてご確認ください。

### ○第5巻 検査・測定と評価

・P66 右側 上から5行目

（訂正前）運動強度（%VO<sub>2</sub>max）＝（運動時心拍数－安静時心拍数）／最大心拍数－安静時心拍数×100

（訂正後）運動強度（%HRR）＝（運動時心拍数－安静時心拍数）／最大心拍数－安静時心拍数×100

・P66 右側 上から19行目

（訂正前）AT＝{最大心拍数（220－年齢）－安静時心拍数}×0.75＋（安静時心拍数）すなわち心拍数を指標とする運動強度の75%ということになる。

（訂正後）AT＝（最大心拍数－安静時心拍数）×0.75＋（安静時心拍数）

※AT強度と最大心拍数の関係は全身持久力により60～80%のバラツキがあり、ここでは75%と仮定した推定式としている。

・P66 右側 上から28行目

（訂正前）VO<sub>2</sub>max（ml/kg/min）＝（X－50.49）／44.73

（訂正後）VO<sub>2</sub>max（ml/kg/min）＝（X－504.9）／44.73

・P67 「表V-B-11 12分間走テストの走行距離とVO<sub>2</sub>max」の変更

※上記変更については「アスレティックトレーナーテキスト修正箇所のご案内」差し替えページ（2016年度版）にてご確認ください。

・P70 図V-B-61 反復横跳び

（訂正前）10m → （訂正後）1m

### ○第8巻 救急処置

・P8 右側 下から1行目

（訂正前）4. 救急時の救命処置を実施する

（訂正後）4. 緊急時の救命処置を実施する